

14:00 – 16:30 大会校企画シンポジウム (F号館 203)

テーマ「帝国と移民」

【司会】高木(北山)眞理子(愛知学院大学)

【趣旨説明】田中きく代

報告1 19世紀後半南東欧におけるドイツ人の入植活動

ーハプスブルク統治下ボスニア・ヘルツェゴヴィナを事例としてー
村上亮(関西学院大学研究科研究員)

報告2 「在フランス北アフリカ出身移民と警察との関係: 植民地支配の『ヘリテージ』」

渋谷努(中京大学)

報告3 メキシコ南部国境を通過する中米移民の現状と支援組織

ーカトリック教会スカラプリーニ宣教会の活動を中心にー
三澤健宏(津田塾大学)

休憩

質疑応答【コメント】南川文理(立命館大学)

16:45 – 17:30 運営委員会 (F号館 201)

※今年も、フリー・スペースを設けます。会場はF号館102です。
会員の論文抜き刷りを交換するなど、研究交流の場としてご活用ください。

※大会第2日目は日曜日でもあり、会場周辺で食事のできる店はほとんどありません。あらかじめ昼食をご持参いただきますよう、ご案内申し上げます。
ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

■会場へのアクセス

西宮上ヶ原キャンパス 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155 0798-54-6017

■JRをご利用の場合

大阪駅より: 神戸線快速で西宮(西ノ宮)駅下車。阪急バス(甲東園行き)で「関西学院前」下車(約15分)。

三ノ宮駅より: 神戸線快速で、西宮(西ノ宮)駅下車。阪急バス(甲東園行き)で「関西学院前」下車(約15分)。

■阪急電車をご利用の場合

阪急西宮北口駅にて阪急今津線(宝塚行き)に乗り換えて「甲東園駅」下車、バス(約5分)または徒歩(約15分)



日本移民学会

click!

日本移民学会 第22回年次大会

The 22nd Annual at Kwanseï Gakuin

Program

2012年

● 6月30日(土)

書評シンポジウム、大会企画シンポジウム、総会

● 7月1日(日)

自由論題報告、ラウンドテーブル、大会校企画シンポジウム

● 会場 ▶ 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス F号館
(兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-115)



■ 問い合わせ先

〔大会担当〕 田中 きく代 [TEL/FAX] 0798-54-6215 [Email] kikuyo@kwansei.ac.jp

〔事務局〕 坂口 満宏 [TEL/FAX] 075-531-9102 [Email] imingakkai@gmail.com

jams
日本移民学会
The Japanese Association for Migration Studies

第1日目 2012.6.30 [Sat]

- 会員控室 (F号館 102)
- 会員交流のフリースペース、書籍展示販売 (F号館 102)
- 大会本部 (F号館 204)

- 9:30 - 10:30 四役会議 (F号館 201)
- 10:30 - 11:30 運営委員会 (F号館 201)
- 11:30 - 受付開始 (F号館 1階ロビー)
- 12:00 - 14:45 書評シンポジウム (F号館 203)
 日本移民学会 20周年記念論文集『移民研究と多文化共生』(2011年、御茶の水書房)をてがかりとして
 【執筆者】 蘭信三 (上智大学)、塩原良和 (慶応大学)、竹沢泰子 (京都大学)、他
 【コメンテーター】 小井土彰宏 (一橋大学)、早瀬晋三 (大阪市立大学)
 【司会】 菅美弥 (東京学芸大学)
- 14:45 - 15:00 休憩
- 15:00 - 17:15 大会企画シンポジウム (F号館 203)
 「移民とジェンダー」
 【講演】 島田法子 (日本女子大学)、伊豫谷 登土翁 (一橋大学名誉教授)
 【司会】 飯野正子 (津田塾大学)
- 17:30 - 18:15 総会 (F号館 203)
- 18:30 - 20:30 懇談会 (関西学院会館)

第2日目 2012.7.1 [Sun]

- 会員控室 (F号館 102)
- 会員交流のフリースペース、書籍展示販売 (F号館 102)
- 大会本部 (F号館 204)

- 9:30 受付開始 (F号館 1階ロビー)
- 9:30 - 9:50 自由論題報告者と司会者の打ち合わせ (F号館 302)
- 10:00 - 12:00 自由論題報告

分科会 1 (F号館 303)		司会: 岡野宣勝、武田興欣
山根美奈 (京都大学・院)	イタリア・ランペドゥーサ島における不法入国者流入 - その実状と政府による対応策 -	
手塚沙織 (同志社大学・院)	変化する高技能労働者の移動とアメリカの移民法	
野入直美 (琉球大学)	沖縄県系人の職業・階層意識とアイデンティティ - 第5回世界のウチナンチュ大会参加者アンケートを中心に -	
佃 陽子 (成城大学)	「移民になるということの複雑性」 - 現代の日本人長期滞在者の事例から -	

分科会 2 (F号館 304) 司会：日比嘉高、山口知子

大林由季 (日本女子大学・院)	ベトナム系アメリカ文学における記憶とジェンダー
吉見かおる (名古屋外国語大学)	日系アメリカ人婦米二世画家ルイス・巖・スズキ(1920-)が今語ること -日系左翼社会を生きた1930-50年代を中心に-
佐藤麻衣(昭和女子大学・院)	太平洋沿岸地域の移民地文芸について -「日米」「新世界」の文芸欄から-
駒込希(早稲田大学・院)	日本人移民からみるロサンゼルスユダヤ系移民 -1913年カリフォルニア州外国人土地法を中心に-

分科会 3 (F号館 305) 司会：小澤智子、金美善

青木香代子(桑港学園)	在日コリアン女性の朝鮮・韓国語に対する認識
田中里奈(早稲田大学・院)	「在日コリアン」として生まれ育った在韓日本語教師の「名のり」の戦略
パイチャゼ・スヴェトラナ (北海道大学)、 青木麻衣子(北海道大学)	札幌市における留学生家族の幼児・児童の教育的諸問題についての考察

分科会 4 (F号館 306) 司会：足立津宏、アンジェロ・イシ

窪田暁 (総合研究大学院大学・院)	移民社会とスポーツ -アメリカのドミニカ移民にとっての野球-
名村優子(立教大学・院)	1920-30年代における女性移民のブラジル渡航 -「日本力行会」の移民送出事業-
半澤典子(京都女子大学・院)	共生への試行 -写真史料にみるブラジル日系社会形成期における経済・社会・文化的諸活動と階層性-

12:00 - 13:30 (昼休み)

お弁当を食べながら ラウンドテーブル1・2・3

1 「ミクロな視点からみる移動・移民とジェンダー」(F号館 301) 【司会】永田貴聖(立命館大学)
【発表】成定洋子(大阪大学)、常田道子(東京外国語大学)、徐玉子(京都大学)

2 「移民と言語：研究と実践から」(F号館 304) 【司会】アルベルト・フォンセカ・酒井
【発表】拝野寿美子(神田外国語大学)、バソヴァ・オリガ(一橋大学・院)、八木亜紀子(東京学芸大学)

3 「オーラル・ヒストリー：移民研究の手法として」(F号館 305) 【司会】蘭信三(上智大学)
【発表】高木(北山)真理子(愛知学院大学)、柳澤幾美(名古屋外国語大学)、
山本恵里子(元全米日系人博物館・椋山女学園大学)